

2021年6月期第1四半期決算説明資料



上場市場 : 東証第一部 札証
証券コード : 9450

 **2021年6月期1Q決算実績**

 **2021年6月期通期決算見通し**

 **トピックス**

Appendix

1

2021/6期1Q実績：23%増収5%経常増益

- ✓ 消費増税の反動で苦戦との期初想定からは手堅い着地を確保
- ✓ ホームユースの顧客増加、ビジネスユースのサービスメニュー拡大などが寄与

2

2021/6期通期見通し：従来見通しを据置き

- ✓ 実質6期連続経常増益を想定
- ✓ 1Qの進捗ピッチは順調ながら、コロナ禍の影響などでは楽観的な見方を排除し、慎重なスタンスを継続

3

トピック：イベントWi-Fi

- ✓ コロナ禍を経た行動様式の変化に対応



Fibergate Inc.

株式会社ファイバーゲート

2021年6月期1Q決算実績

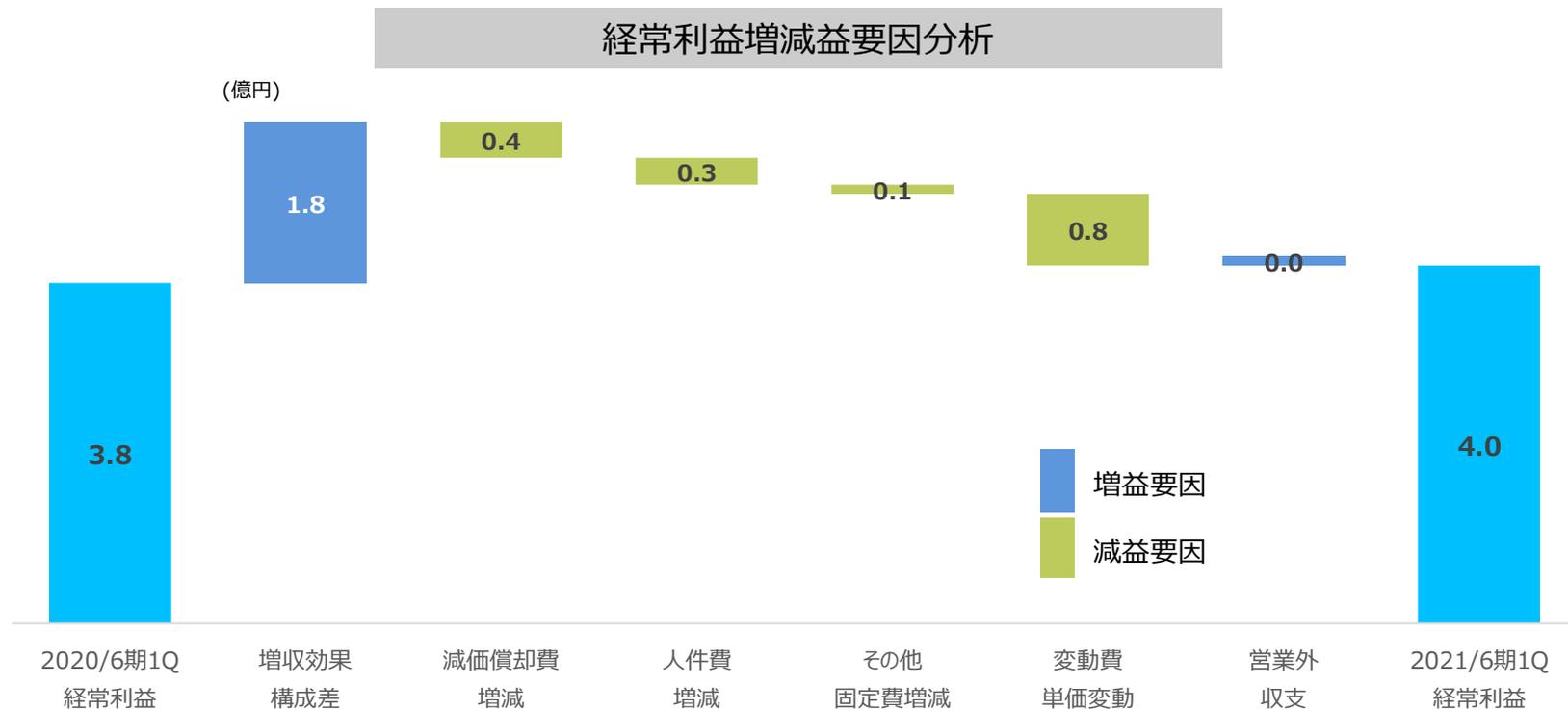
- 前年比23%増収、5%経常増益。売上堅調ながら、取引形態の多様化に伴う粗利率の悪化、人件費、顧客数拡大に伴う経費の増加などが重石となり小幅増益。
- ただし、消費増税影響の反動で苦戦必至との期初想定からは手堅い着地を確保。ホームユースの顧客増加、ビジネスユースのサービスメニュー拡大などが寄与

(百万円) 百万円未満、0.1%未満切り捨て	2020/6期 1Q実績	2021/6期 1Q実績	前年同期比較		2021/6期通期	
			増減額	増減率	見通し	1Q進捗率
売上高	1,730	2,128	+397	+22.9%	9,050	23.5%
ホームユース	1,368	1,713	+344	+25.2%	7,410	23.1%
ビジネスユース	362	415	+52	+14.4%	1,630	25.4%
その他	-	-	-	-	10	0.0%
営業利益	389	407	+18	+4.7%	1,430	28.5%
ホームユース	441	443	+2	+0.4%	1,830	24.2%
ビジネスユース	111	152	+41	+36.8%	420	36.3%
その他	-	▲0	▲0	-	▲10	6.6%
調整	▲163	▲187	▲23	-	▲810	23.1%
経常利益	381	402	+20	+5.4%	1,410	28.5%
経常利益率	22.0%	18.9%	▲3.1pp	-	15.5%	-
当期純利益	245	273	+28	+11.4%	940	29.1%

注記：2020/6期1Qのセグメント情報は、旧来の報告セグメント（レジデンスWi-Fi、フリーWi-Fi）における実績値を掲載。決算短信では、報告セグメント変更に伴い2020/6期1Qも新セグメントに遡及調整済の数字を記載

経常増減益要因分析

- 増益の牽引役は増収効果。取引形態多様化の影響による粗利率の低下によりその影響は若干圧縮されたものの、それを吸収して1.8億円の増益要因として寄与。
- コスト面では、顧客増や本社機能強化に伴う固定費増が継続。変動費では顧客増に伴うコスト上昇などが影響。これらは成長には不可欠なコスト増ながら、増収効果の寄与を大幅に減殺



- 1Qは季節的に低調な4Qとの比較で大幅な増収増益。四半期では過去最高売上高を計上
- セグメント別には、ホームユースは消費増税反動の影響が主として発生するも、顧客積上げ順調で増収を確保。ビジネスユースも商業施設向け需要は弱いものの、サービスメニューの拡大が下支え

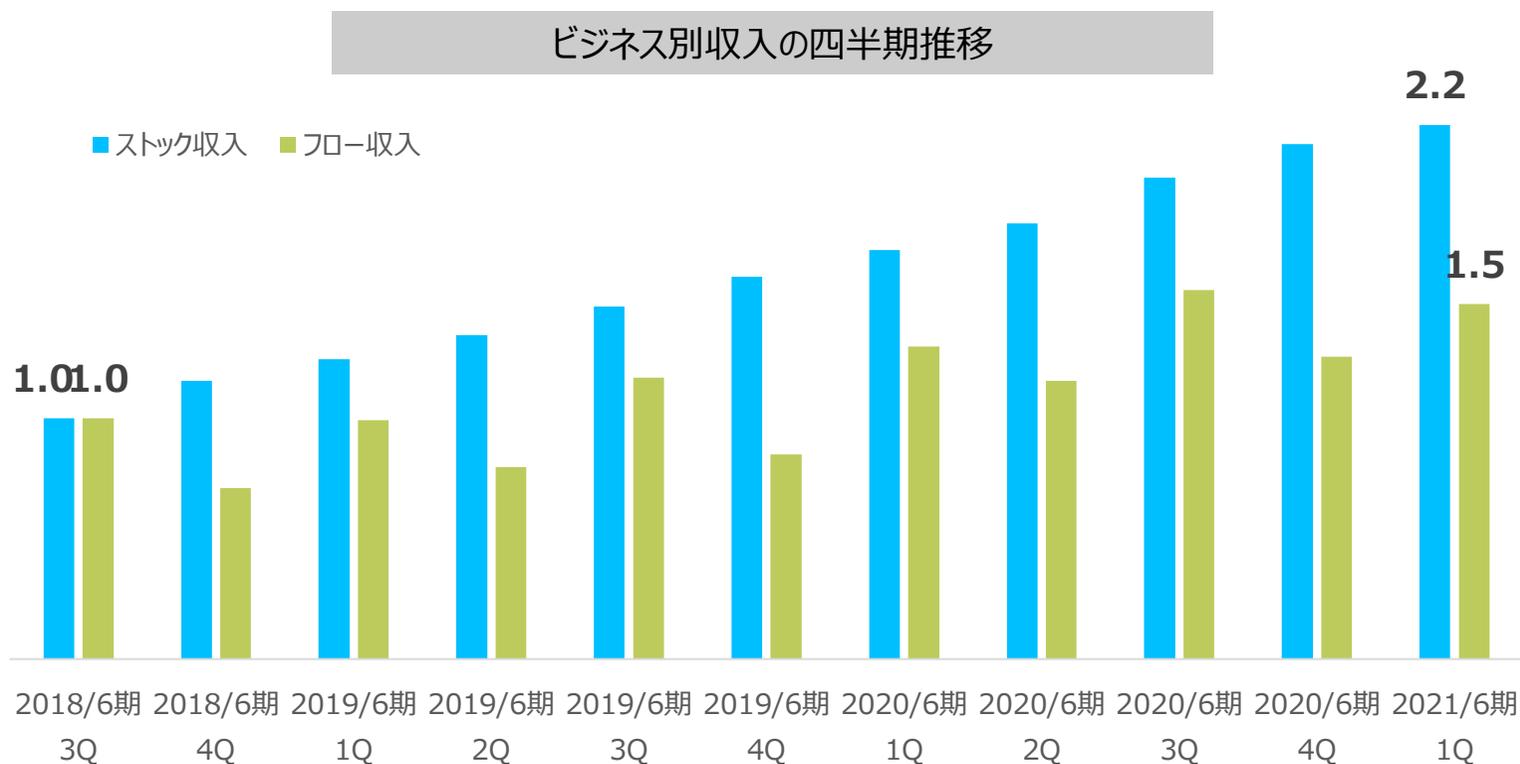
(百万円)	2019/6期				2020/6期				2021/6期	前年比較	4Q/1Q比較
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q		
売上高	1,293	1,230	1,523	1,398	1,730	1,705	2,039	1,948	2,128	+397	+179
ホームユース	956	896	1,117	1,103	1,368	1,249	1,578	1,515	1,713	+344	+197
ビジネスユース	337	334	406	295	362	455	461	432	415	+52	▲17
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
営業利益	304	192	345	94	389	248	466	131	407	+18	+276
ホームユース	336	227	361	271	441	293	481	268	443	+2	+175
ビジネスユース	104	101	137	28	111	130	151	113	152	+41	+39
その他	-	-	-	-	-	-	-	▲1	▲0	▲0	+0
調整	▲136	▲136	▲153	▲205	▲163	▲175	▲166	▲249	▲187	▲23	+61
経常利益	298	186	336	65	381	240	463	128	402	+20	+274
経常利益率	23.0%	15.1%	22.0%	4.7%	22.0%	14.1%	22.7%	6.6%	18.9%	▲3.1p	+12.3p
当期純利益	189	118	215	28	245	144	294	37	273	+28	+236

注記：2020/6期以前のセグメント情報は、旧来の報告セグメント（レジデンスWi-Fi、フリーWi-Fi）における実績値を掲載。

決算短信では、報告セグメント変更に伴って2020/6期1Q実績も新セグメントに遡及調整しているため、上記数字とは厳密には一致しない

*百万円未満、0.1%未満切り捨て

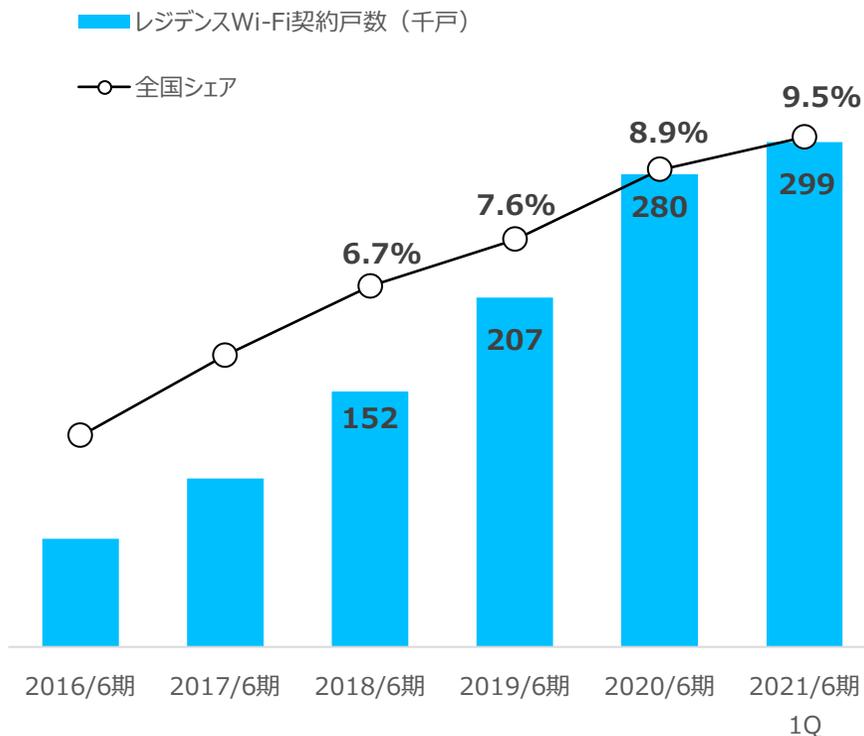
- ストック収入の拡大は上場以来10四半期連続。1Q実績は2018/6期3Q基準で2.2倍に到達し、ストック型ビジネスモデルにおいて安定したキャッシュフローを生み出す仕組みの構築が進展
- 一方、フロー収入も堅調に推移。季節要因から1Q・3Qは伸びる傾向にあるが、1Qはビジネスユーザー向けで機器販売等、新販路開拓による貢献も寄与



注) 2018/6期3Q=1 として指数化。小数点以下の差により、同じ数値表記にもかかわらず、見かけ上グラフの高さに違いが生じることがある

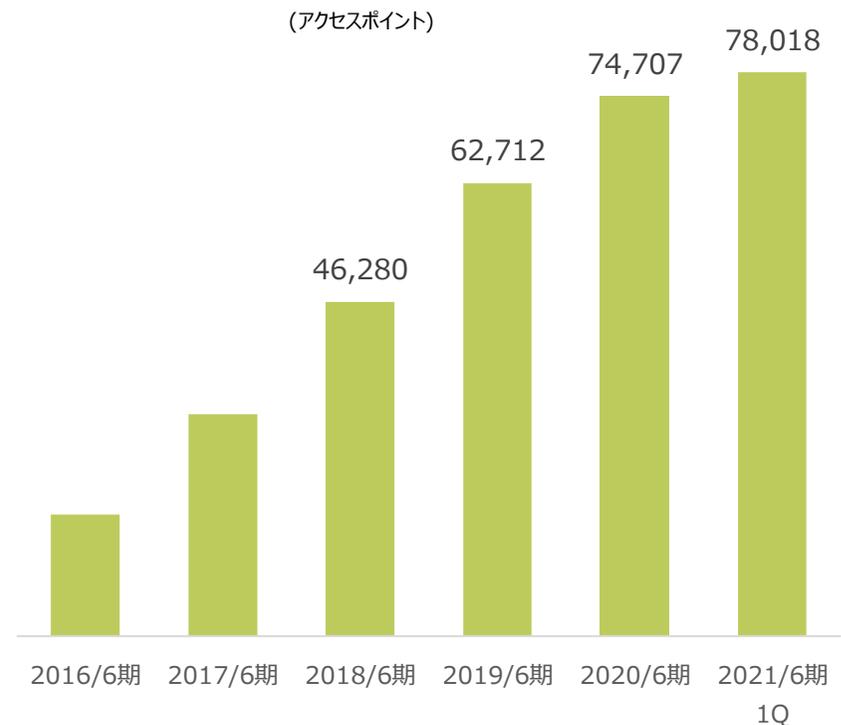
- レジデンスWi-Fi契約戸数は1Q末で約30万戸。全国シェアも順調に拡大し、最新の市場規模を基準に再計算すると10%目前といった水準と推定。引続き、期を追ってシェアは拡大の見通し
- フリーWi-Fiのアクセスポイントは7.8万ポイント。前4Qで見られた減速はここにきてやや挽回傾向

レジデンスWi-Fi契約戸数と全国シェアの推移



*全国シェアはMM総研発表による全戸一括型マンションISPの提供戸数総数（各3月末現在）を当社会計年度末（もしくは直近四半期末）の契約戸数実績で除して算出

フリーWi-Fiアクセスポイント数 (注) 推移



(注) 当社の認証システムを利用しているアクセスポイント数

連結決算概要(貸借対照表)

- 自己資本比率は40.3%。遂に40%を超え、財務体質は脱「脆弱」との位置づけに
- ただし、顧客増に伴って売掛金、有形固定資産が増加するビジネスモデルに変更なし。キャッシュアウト先行構造であるため、依然運転資金確保への対応は継続

(百万円)	2019/6期	2020/6期	2021/6期 1Q	2020/6期 末比増減
流動資産	2,351	2,795	2,874	+78
現預金	1,058	1,415	1,274	▲140
売掛金	993	1,071	1,273	+201
棚卸資産	269	272	237	▲34
固定資産	2,955	4,185	4,348	+163
有形固定資産	2,806	4,005	4,176	+170
総資産	5,311	6,984	7,225	+241
負債	3,330	4,274	4,312	+38
有利子負債	2,378	3,073	3,241	+167
その他	951	1,200	1,071	▲129
純資産	1,981	2,710	2,912	+202
負債純資産合計	5,311	6,984	7,225	+241

キャッシュアウト先行構造にあるため、一定水準以上の運転資金を確保

売上増に伴う増加は継続

顧客増に伴う設備関連先行投資も拡大継続

キャッシュアウト先行構造に対応

自己資本比率40.3%
財務体質は脱「脆弱」

*百万円未満、0.1%未満切り捨て



Fibergate Inc.

株式会社ファイバーゲート

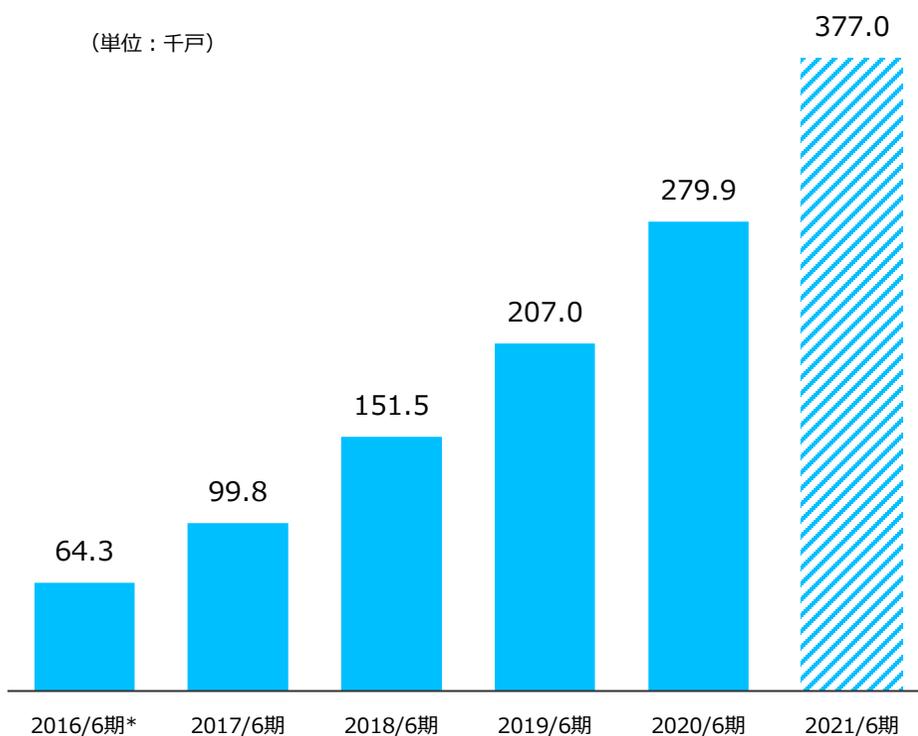
2021年6月期決算見通し

- 2021/6期通期は従来想定を据置き。21%増収16%経常増益と、中計超過達成ピッチを持続
- ホームユースは契約戸数拡大により好調持続。一方、ビジネスユースでは、コロナ禍やそれに伴う社会行動様式の変化による商業施設需要の影響には楽観的な見通しを排除

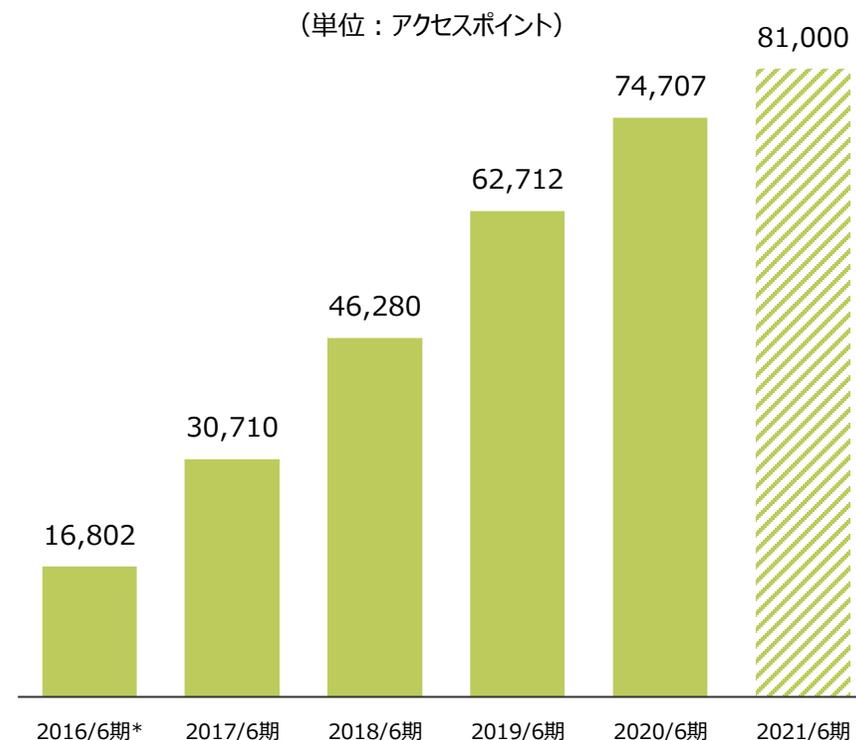
(百万円。百万円未満切り捨て)	2019/6期	2020/6期	2021/6期 見通し	前年同期比	
				増減額	増減率
売上高	5,446	7,424	9,050	+1,625	+21.8%
ホームユース事業	4,073	5,712	7,410	+1,697	+29.7%
ビジネスユース事業	1,373	1,712	1,630	▲82	▲4.8%
その他	-	0	10	+10	-
営業利益	936	1,234	1,430	+195	+15.8%
ホームユース事業	1,197	1,484	1,830	+345	+23.2%
ビジネスユース事業	371	507	420	▲87	▲17.2%
その他	-	▲1	▲10	▲8	費用先行
調整	▲632	▲755	▲810	▲54	▲7.2%
経常利益	886	1,215	1,410	+194	+16.0%
当期純利益	550	722	940	+217	+30.0%
* <前提>					
レジデンスWi-Fi契約戸数 (千戸)	207.0	279.9	377.0	+97.0	+34.7%
フリーWi-Fiアクセスポイント数 (千AP)	62.7	74.7	81.0	+6.3	+8.4%

- レジデンスWi-Fi累積契約戸数は、リモート需要一巡もあり、やや前提よりも鈍いペースで推移
- フリーWi-Fiアクセスポイント数は、商業施設再稼働から、逆に想定以上のピッチで進捗

レジデンスWi-Fi契約戸数



フリーWi-Fiアクセスポイント数 (注) の推移



*2016/6期は6ヵ月決算

注：当社の認証システムを利用しているアクセスポイント数

2020/6期実績

2021/6期見通し

売上高	74.2 億円		売上高	90.5 億円
経常利益	12.2 億円		経常利益	14.1 億円

経常利益想定 + **1.9**億円

ホームユース事業（旧レジデンスWi-Fi事業）

ホームユースWi-Fi契約増 +4.3億円

フロービジネスの採算低下 ▲1.0億円

ビジネスユース事業（旧フリーWi-Fi事業）

フリーWi-Fi 採算悪化 ▲1.2億円

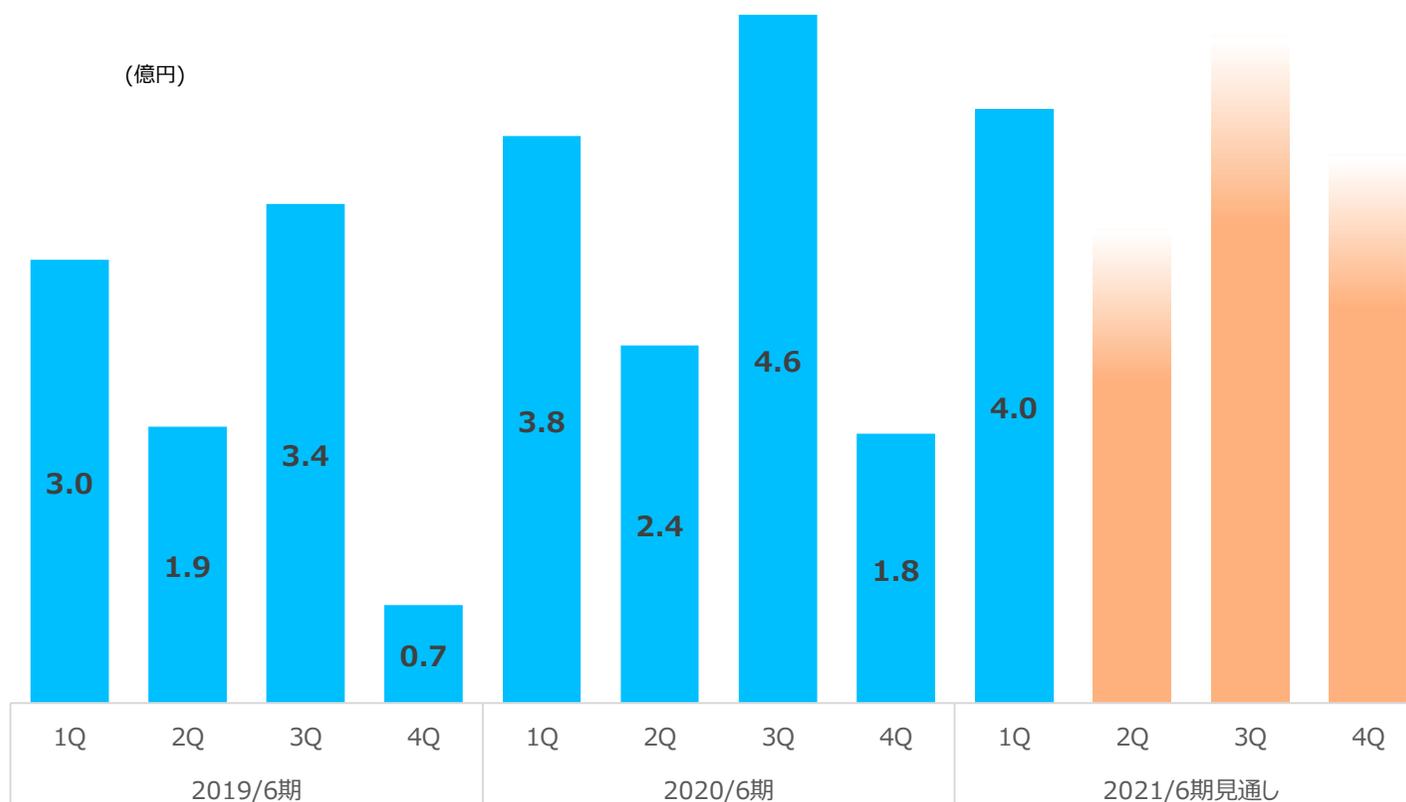
ビジネス関連需要拡大 +0.4億円

その他事業 ▲0.1億円

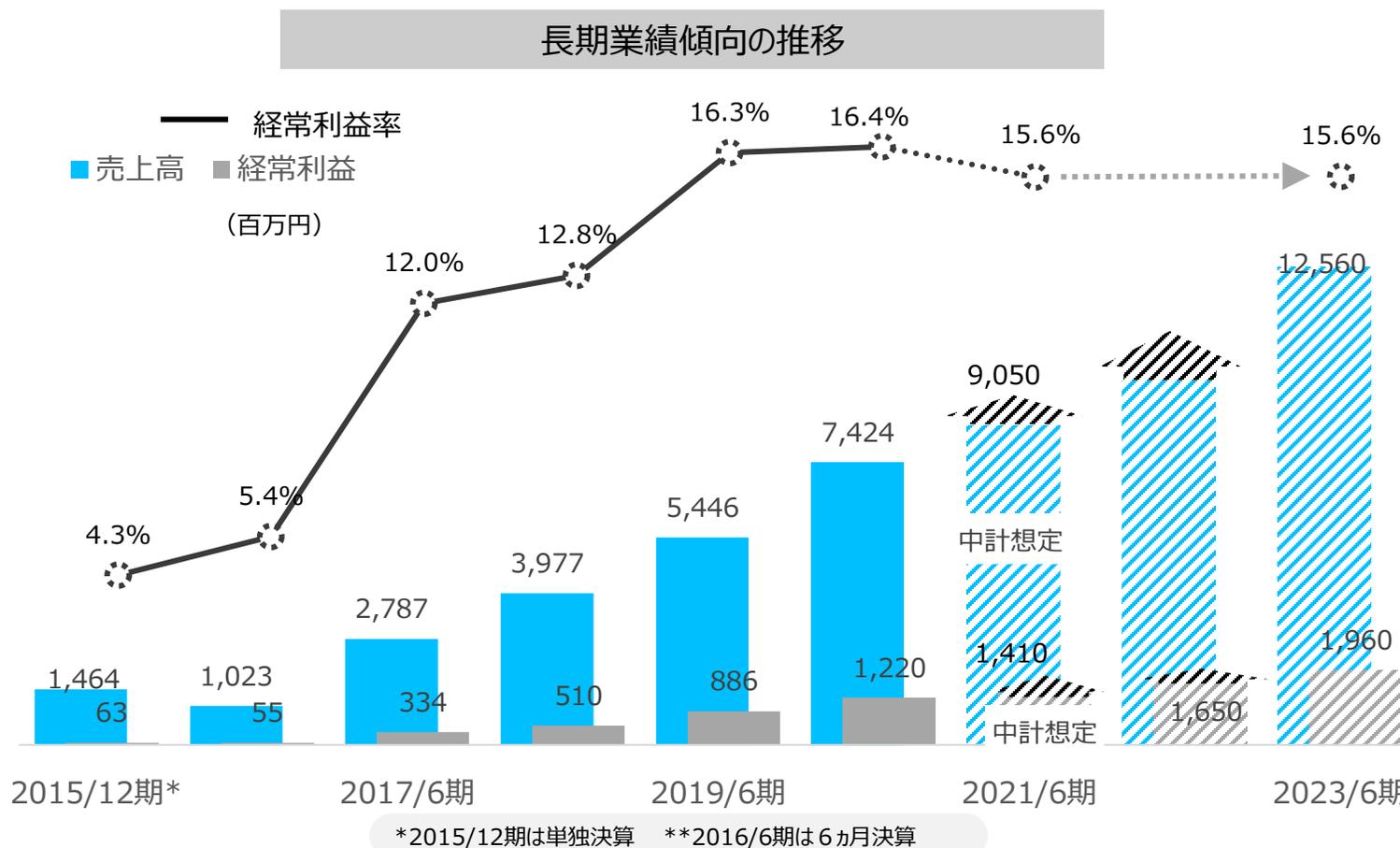
人件費等固定費の上昇 ▲0.5億円

- 四半期別業績見通しでは、季節要因から2Qは対1Qで経常減益を想定するものの、前年比では増益確保を予想。ホームユース顧客の積上げ効果に加え、ビジネスユースでもコロナ禍で急減した商業施設の再稼働が下支えへ

四半期別経常利益の推移イメージ



- コロナ禍は想定外ながら、当社自身も変化を急ぐ。その真価が問われる2021/6期中計のラップクリアを実現し、現中計目標（2022/6期経常利益16.5億円）も超過達成に向けて注力
- 2023/6期の中期目標は売上125億円超、経常利益19億円超



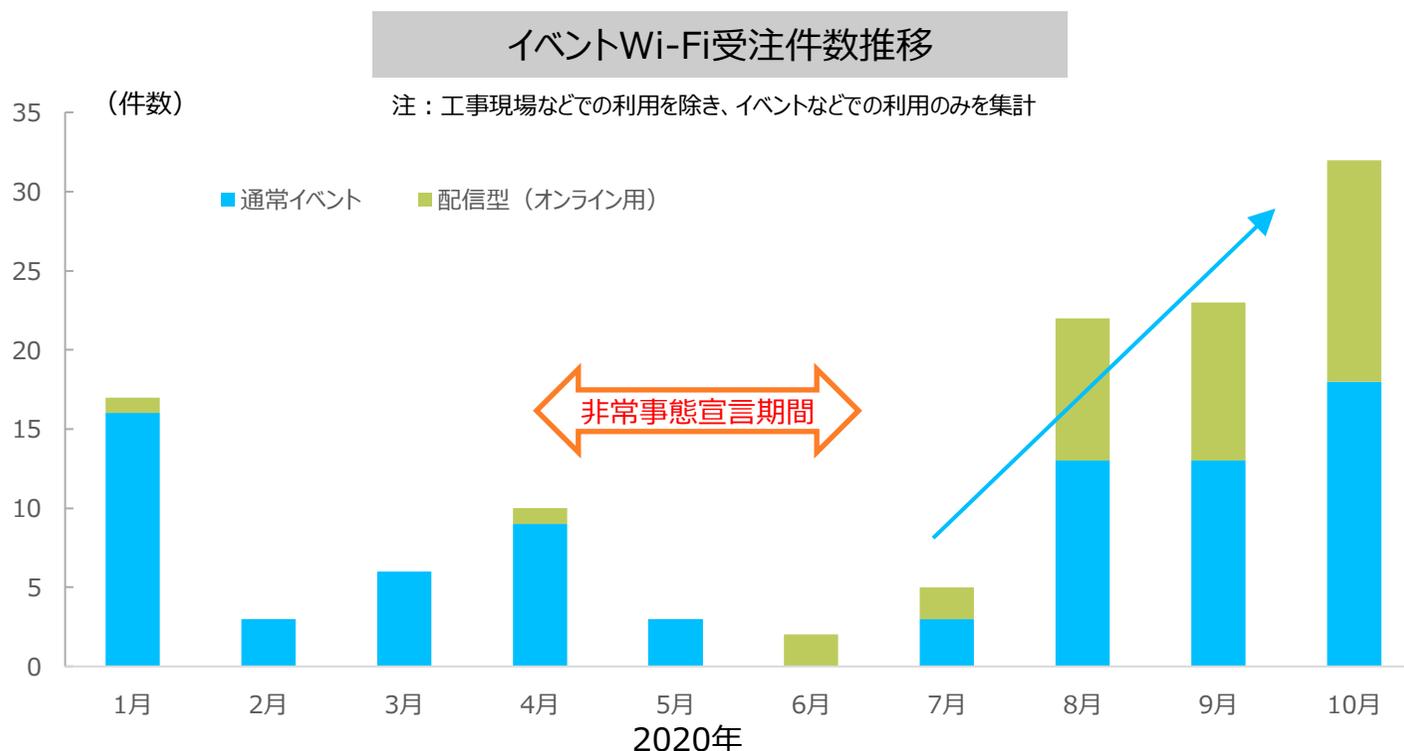


Fibergate Inc.

株式会社ファイバーゲート

トピックス

- ウィズ/アフターコロナの世界に対応。イベントWi-Fiの受注件数は経済活動が再開された7月以降で急速に拡大。特に、リモートカンファレンスなどに利用される配信型の利用例が増加
- 現時点では全社損益への寄与は限定的ながら、ウィズ/アフターコロナ下で生活必需のインフラとなるWi-Fiの活用法の一つとしての戦略的試みと位置づけ



イベントWi-Fiサービス：一定規模の空間に一定期間、信頼性と安定性を満たした通信インフラ環境を大規模工事や回線引き込み不要で提供するサービス



Fibergate Inc.

株式会社ファイバーゲート

Appendix



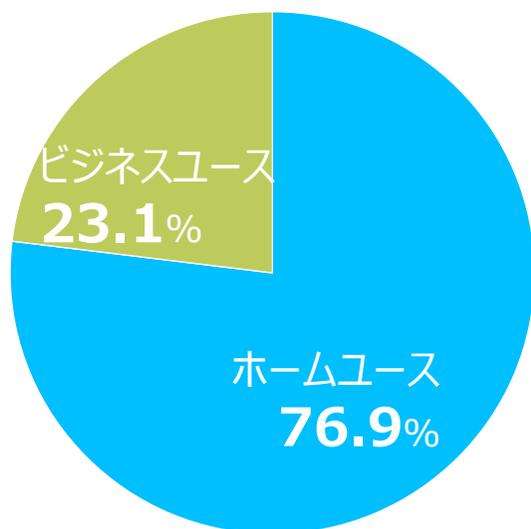
**通信機器の開発・製造から電気通信サービスまで、
一貫して手がける（通信系キャリア以外の）
独立系Wi-Fiソリューション企業***

***独立系公衆無線LAN 事業者**

公衆無線LAN(Wi-Fi)アクセスサービス分野で、総務省（総合通信基盤局事業政策課）
管轄業者かつ提供区域が全国の業者は、現在15社で、当社は大手キャリアと肩を並べる存在

- 2つの主要事業を展開。主力はレジデンスWi-Fiで、売上構成は76.9%（2020/6期）
- 高採算の「顧客PB化支援」（当社は黒子として貢献）に注力

売上構成内訳



2020/6期実績

ホーム ユース事業



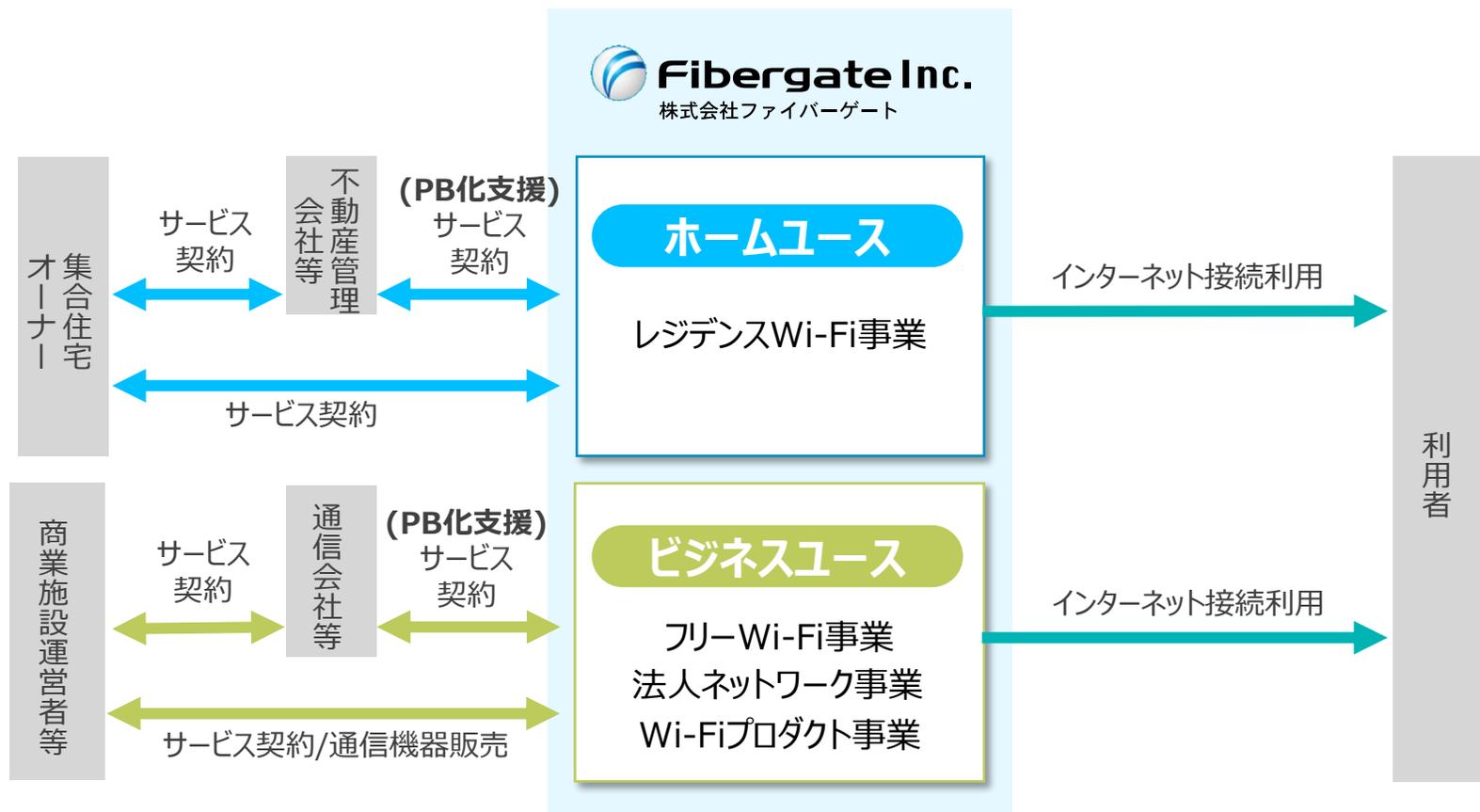
- ・マンション・アパート向け全戸一括インターネット接続サービスの提供
- ・顧客は集合住宅オーナー



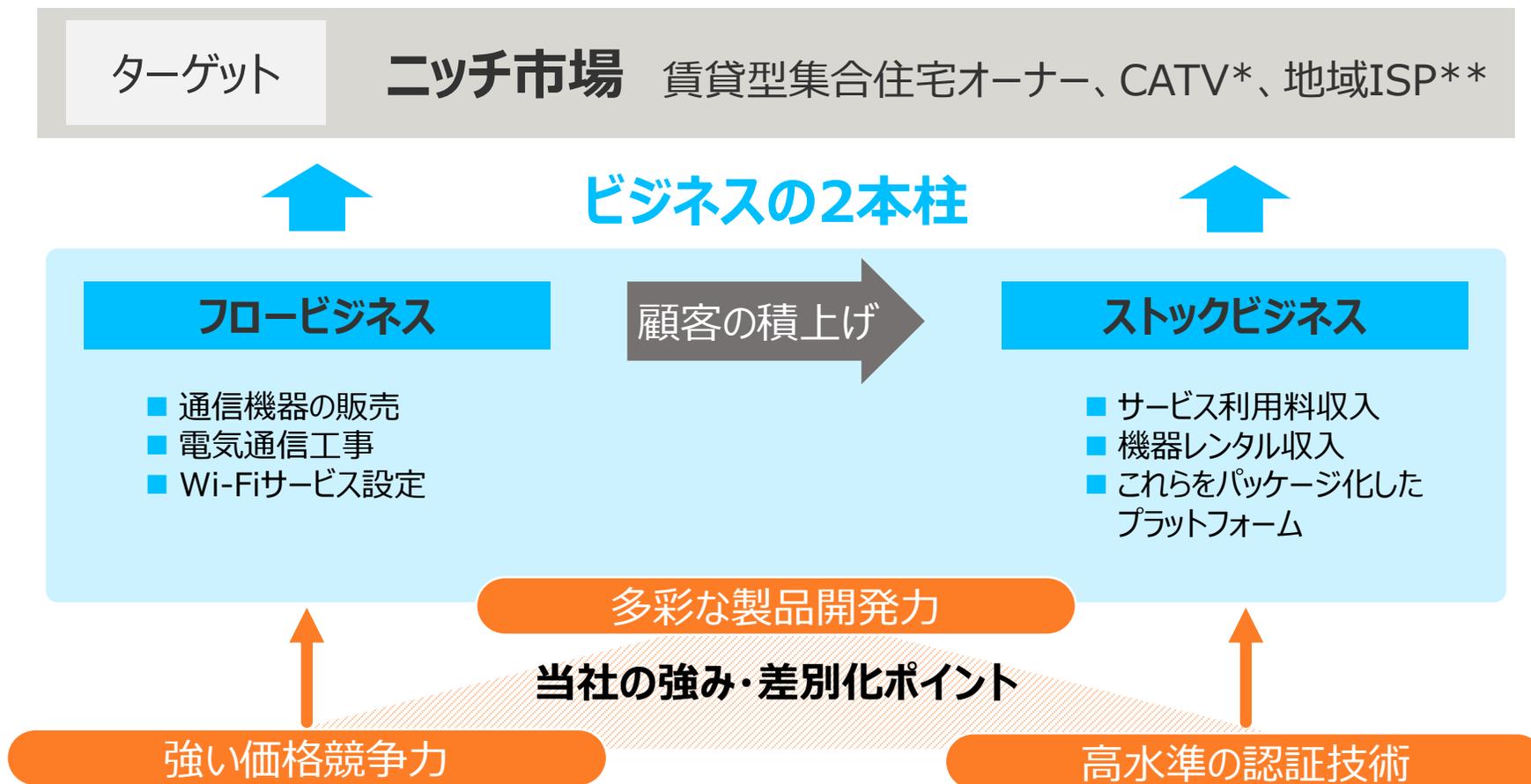
ビジネス ユース事業

- ・フリーWi-Fi事業(観光地、商業施設向け)
- ・法人ネットワーク事業
(インターネットプロバイダサービスなど)
- ・Wi-Fiプロダクト事業
(通信機器の製造販売)
- ・顧客は観光自治体、商業施設などのロケーションオーナー

- 金銭報酬はサービス契約先より受領。インターネット接続利用者の金銭負担はなし
- 「顧客のPB化支援」が主力



- ニッチ市場に向けて、フローとストックの2本柱を用意
- 当社の差別化ポイントは、「製品開発力」、「価格競争力」、「認証技術」の3点



*CATV : Cable Television。光ケーブルなどを用いてテレビ放送やインターネット接続、電話などのサービスを提供する企業

**ISP : Internet Service Provider。インターネット接続の電気通信役務を提供する電気通信事業者

Forward to “Alternative Carrier”

～全ての通信のゲートウェイを目指して～

4G/LTE/5G



衛星通信



Wi-Fi



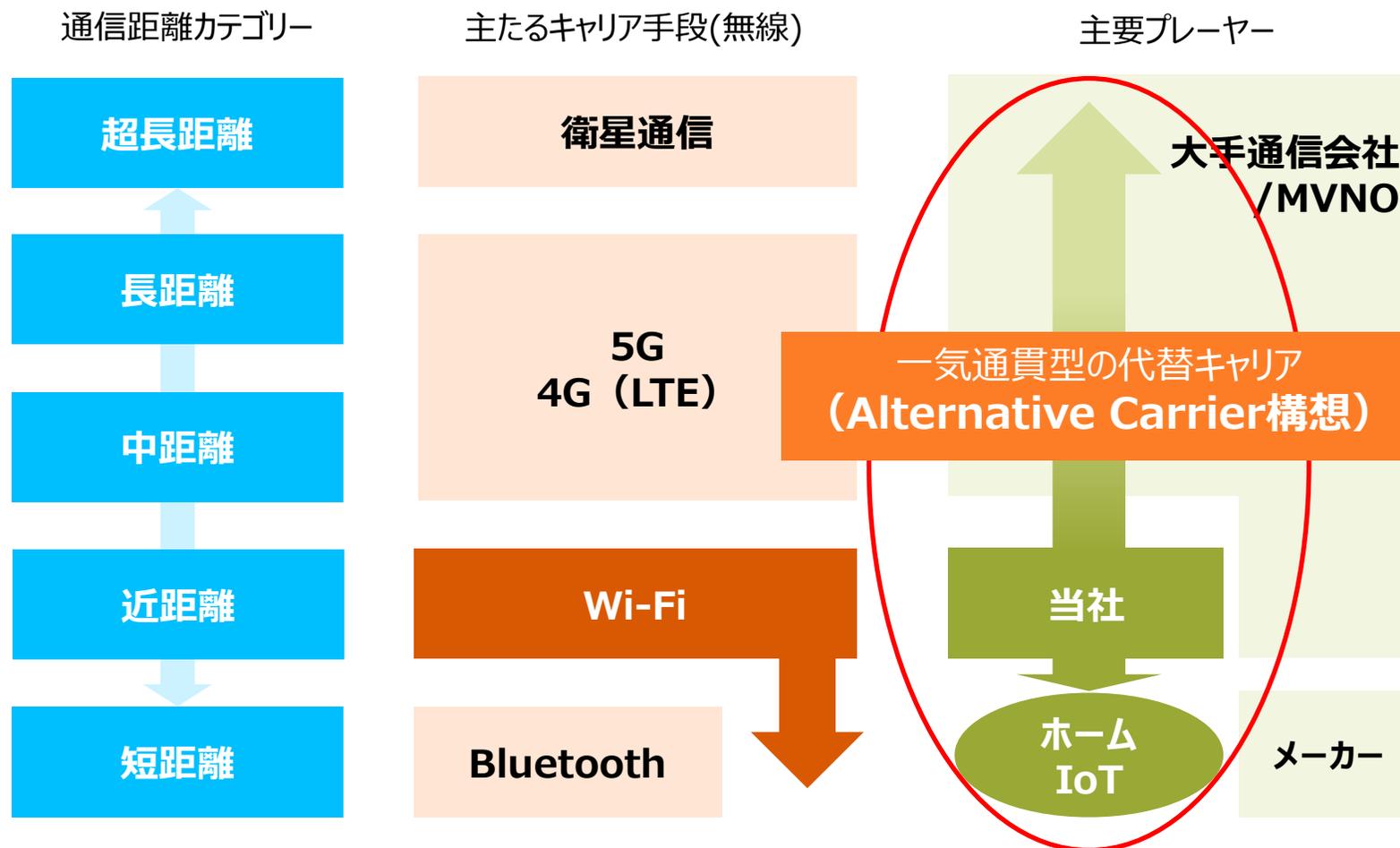
ビフォーコロナの世界

Wi-Fiは“集客ツール”

アフター/ウィズコロナの世界見通し

Wi-Fiは生活必需の“インフラ”へ

快適・安全な通信環境
大容量通信
安価・利便性高いソリューション
 へのニーズは一層拡大へ



年	内容
2000	➤ 国内、国際電話サービスの加入取次を目的に仙台市若林区に会社設立
2003	➤ 札幌市中央区に本社移転 ➤ 複数拠点企業のネットワーク構築、Webでのブロードバンド回線販売を主業とする
2004	➤ レジデンスWi-Fi事業を開始
2005	➤ Wi-Fiによるブロードバンド化サービスを開始
2006	➤ PB化支援による集合住宅向けインターネット無料サービスを開始
2008	➤ マンスリーマンション向けインターネット接続事業を開始
2009	➤ フリーWi-Fiサービス事業を開始
2013	➤ コンピュータウェアの企画開発及びインターネット回線取次を担当する子会社NOISを設立
2014	➤ 当社開発通信機器の販売事業（Wi-Fiプロダクト事業）を開始 ➤ PB化支援による店舗・商業施設向けWi-Fiサービスを開始
2015	➤ 電気通信工事業認可（北海道知事許可）を取得 ➤ 台湾に100%子会社・飛博網通技股份有限公司を設立 ➤ 電気通信事業法に基づく電気通信事業の登録免許を取得
2016	➤ 経営革新計画企業に認定
2018	➤ 東京証券取引所マザーズ市場に上場 ➤ 株式分割（1株→2株）実施
2019	➤ 東京証券取引所第一部に上場市場変更 ➤ 札幌証券取引所に上場 ➤ 株式分割（1株→2株）実施
2020	➤ プロダクト開発子会社FG-Lab設立 ➤ 法人向け通信サービス事業等を行う子会社BizGenesisを設立

決算年月 (* 6ヵ月決算)		2016/6期*	2017/6期	2018/6期	2019/6期	2020/6期
売上高	(千円)	1,023,483	2,787,387	3,977,485	5,446,396	7,424,440
経常利益	(千円)	55,270	334,836	510,171	886,999	1,215,285
当期純利益	(千円)	27,012	209,331	312,312	550,888	722,848
資本金	(千円)	51,300	54,300	401,372	426,896	479,674
発行済株式総数	(株)	54,200	56,200	4,761,900	9,807,400	20,402,400
純資産額	(千円)	200,854	413,480	1,380,144	1,981,638	2,710,216
総資産額	(千円)	2,255,326	3,054,242	4,364,688	5,311,858	6,984,445
1株当たり純資産額	(円)	74.12	147.15	144.92	202.06	133.52
1株当たり当期純利益金額	(円)	10.08	75.92	81.62	57.60	36.19
自己資本比率	(%)	8.91	13.54	31.62	37.30	38.80
自己資本利益率	(%)	14.50	68.15	34.82	32.77	30.81
営業活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	106,606	544,165	808,563	1,345,616	1,732,861
投資活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	▲179,893	▲836,777	▲1,328,849	▲1,389,763	▲2,071,715
財務活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	147,142	313,955	868,783	▲15,102	699,639
現金及び現金同等物の期末残高	(千円)	748,311	773,093	1,118,034	1,058,574	1,415,418
従業員数	(人)	92	115	141	159	180

ご清聴ありがとうございました。

< 見通しに関する注意事項 >

当資料に記載されている内容は、いくつかの前提に基づいたものであり、将来の計画数値や施策の実現を確約したり保証したりするものではありません。

問い合わせ先
経営管理本部 IR担当
0120-772-322
fgir@fibergate.co.jp